

府の取り組み（市町村含む）及び予防接種実施状況について

1. 大阪府内の予防接種実施状況

麻しんに関する特定感染症予防指針では、平成 20 年度からの 5 年間で麻しんの排除のための対策期間とし、特に中学 1 年生と高校 3 年生に相当する年齢のものを時限的に定期の予防接種の対象者とするなどの取り組みを定めている。

対策期間の予防接種の状況は下表のとおりである。

	第 1 期	(全国平均)	第 2 期	(全国平均)	第 3 期	(全国平均)	第 4 期	(全国平均)
平成 20 年度	93.9	(94.3)	88.8	(91.8) W3	77.2	(85.1) W3	68.1	(77.3) W3
平成 21 年度	93.7	(93.6)	88.9	(92.3) W4	79.9	(85.9) W4	68.1	(77.0) W3
平成 22 年度	95.1	(95.6)	90.8	(92.2) W7	83.4	(87.2) W6	71.7	(78.8) W3
平成 23 年度	94.9	(95.3)	91.5	(92.8) W6	87.1	(88.1)	74.4	(81.4) W3
平成 24 年度	98.1	(97.5)	93.0	(93.7) W10	89.6	(88.8)	78.2	(83.2) W3

2. 市町村の取り組み

府内市町村の平成 22 年度及び平成 24 年度予防接種状況を調査した結果について、主に次の点について府内市町村の取り組みについて分析を行った。【資料 3 - 2】

- ① 個別通知について ② 集団的接種の実施について

3. 大阪府の取り組み

- ・ 毎年度、繰り返して市町村に対する接種率向上の取り組みを依頼した。
 - ・ 平成 23 年度：7 月・9 月・2 月・3 月の計 4 回
 - ・ 平成 24 年度：5 月・6 月・7 月・10 月・1 月・3 月の計 6 回
- ・ 学校設置者への年 3 回の接種状況調査及び未接種者への勧奨を依頼し、集計（平成 22 年度、23 年度、24 年度）。
- ・ 独自の広報として、「府政だより」での周知
 - ・ 平成 22、23 年度は 6 月号、3 月号
 - ・ 平成 24 年度は 7 月号、3 月号
- ・ 第 3 期・第 4 期対象のチラシ作製（データを公開）
- ・ 村野浄水場内の子供向けイベントでの麻しんに関する DVD 上映等の麻しん予防の啓発活動（平成 22 年度、23 年度、24 年度）

4. 副反応発生状況

麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は、平成18年度より導入されている。その副反応に関しては、本府において、平成18年度は4件、平成19年度は2件、平成20年度は6件、平成21年度3件、平成22年度は1件、平成23年度は3件、平成24年度は3件の報告書が提出されている（平成20年度から24年度において、第1期が8件、第2期3件、第3期2件、第4期3件）。病名は発熱、発疹、けいれん、脊髄炎等とされる。

定期の予防接種による副反応報告は、実施要領による報告基準（①24時間以内のアナフィラキシー、②21日以内の脳炎、脳症、③21日以内のその他けいれんを含む中枢神経症状、④上記症状に伴う後遺症、⑤その他、通常の接種ではみられない異常反応）に基づくものであり、予防接種との因果関係や健康被害救済と直接結びつくものではない。

なお、定期の予防接種に係る副反応報告書は、平成24年度まで、「定期の予防接種実施要領」に基づき、接種医師等から市町村に提出され、都道府県を經由して厚生労働省へ報告されてきたが、平成25年度より健発0330号第3号、薬食発0330第1号「定期の予防接種等による副反応の報告等の取り扱いについて」に基づき、医師等から、厚生労働省へFAXにて提出されることとなった。尚、医師からの副反応報告書は、厚生労働省から都道府県を經由して市町村に還元されている。

<参考：厚生労働省「予防接種後副反応報告書集計報告書」>

- (平成18年度) MR予防接種後副反応報告症例数(件数)は58例(100件)であった。回復していないと報告された例に重篤な副反応例はなかった。
- (平成19年度) MR予防接種後副反応報告症例数(件数)は29例(38件)であった。血小板減少性紫斑病が5例、アナフィラキシーが2例、スティーブンス・ジョンソン症候群が1例報告された。後遺症を残した急性散在性脳脊髄炎、脳症、急性小脳失調症が各1例報告された。
- (平成20年度) MR予防接種後副反応報告症例数(件数)は72例(98件)であった。ウイルス性脳炎が1例、神経合併症が3例報告された。
- (平成21年度) MR予防接種後副反応報告症例数(件数)は48例(63件)であった。ADEMと診断された例が3例あった。
- (平成22年度) MR予防接種後副反応報告症例数(件数)は44例(57件)であった。3人に重篤な神経系疾患を認め、また、5人は血小板減少性紫斑病を発症した。
- (平成23年度) MR予防接種後副反応報告症例数(件数)は77例(95件)であった。2人に重篤な神経系疾患を認め、また、5人は血小板減少性紫斑病を発症した。